



みんなてつくろう！ようかいちのまち

NEW 八日市 コミセンHP



八日市まちづくり協だより

第67号
令和5年6月発行

令和5年度定期総会を书面表決で行いました

八日市地区まちづくり協議会では、令和5年度の定期総会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による表決を行い、賛成多数ですべての議案を可決いただきました。表決の結果は次のとおりです。

表決書送付数：90 返送分：72

第1号議案	承認：72	不承認：0
第2号議案	承認：72	不承認：0
第3号議案	承認：72	不承認：0
第4号議案	賛成：72	反対：0
第5号議案	賛成：72	反対：0
第6号議案	賛成：72	反対：0

第1号議案 令和4年度事業報告(主なもの)

【まちづくり事業】

- ・歴史文化プロジェクトで制作した八日市ふるさと絵屏風のレプリカが、平和堂の改装で壁面に展示され、多くの方々に知ってもらえるようになりました。
- ・まち鉄プロジェクトは、「ようこそ八日市ふるさと絵屏風の世界へ」と題して、絵屏風に描かれた昔の八日市の様子を当時の写真と共に展示するイベントを8月に開催しました。帰省されていた方々が、懐かしい八日市を思い起こすいい機会になったとおもいました。また、10月16日の近江鉄道一日無料乗り放題DAYに協賛して行った「マンボの秘密と飛行場線跡探訪ウォーキング」は、30名近い参加者があり、近江鉄道に寄せる期待の大きさに驚いた一日でした。

【指定管理事業】

- ・えんめい短期大学や、料理、寄せ植えなどの短期講座は、ほぼ実施できました。
- ・八日市地区市民大運動会をはじめ、子どもサマーフェスティバル、コミセンまつりはコロナ禍で中止しました。文化祭は展示が中心なので実施しました。
- ・ヨガレッチ教室、男のヨガ教室は好評につき継続的に実施しました。
- ・寄贈された卓球台(2台)に加えて新規に卓球台を購入し、みんなの卓球クラブを開設。誰でも参加自由で毎回15、6人の参加があり、週2回汗を流しておられます。
- ・健康づくりに、みんなで楽しくウォーキングを始めました。毎回テーマを決めて実施しています。

第2号議案 令和4年度決算報告

- ・まちづくり事業会計と指定管理事業会計の承認。

第3号議案 令和5年度役員

執行役員

まちづくり協議会代表	浦根 悦夫 (第7条第1項第4号)
副代表	羽泉 博史 (自治会連合会会長)
副代表	大橋 和史 (第7条第1項第4号)
常任理事	森 正 (ちやいんどネット八日市会長)
常任理事	加川 泰正 (社会福祉協議会会長)
常任理事	小杉 光雄 (民生委員児童委員協議会会長)
常任理事	河村 尚昭 (第7条第1項第4号)
会計	藤田 恵子 (第8条第3項 代表の指名)
事務局長	中島 俊治 ()
コミュニティセンター館長	中島 俊治 (第8条第1項第6号)

理事 (第7条)

第7条第1項第1号 自治会連合会の各総自治会長	第7条第1項第3号 各プロジェクトより
東本町総自治会長 堤 恵一	冒険遊び場づくりプロジェクト 村山 弘晃
八日市町総自治会長 平井 康博	延命夢クラブ 田中 健士
金屋総自治会長 村井 康弘	箕作山麓里・山づくりプロジェクト 高嶋 芳紀
浜野総自治会長 森 謙治	花いっぱいプロジェクト 高村 修
八日市清水総自治会長 羽泉 博史	いきいきあったかサロン 廣島 育子
八日市緑町総自治会長 荻田 富和	子育て支援プロジェクト 森 和子
第7条第1項第2号 コミュニティ部会より	八日市つながりプロジェクト 井田 直子
ちやいんどネット八日市会長 森 正	清水川湧遊プロジェクト 矢島 之貴
人権のまちづくり協議会会長 野瀬 信弘	防災プロジェクト 小嶋 松治
社会福祉協議会会長 加川 泰正	歴史文化プロジェクト 白木 一男
民生委員・児童委員協議会会長 小杉 光雄	まち鉄プロジェクト 山下 勝司
スポーツ協会会長 大洞 共一	第7条第1項第4号 会員より
	浦根 悦夫 大橋 和史 河村 尚昭

会計監事 (第9条)

自治会連合会より選出
平井 康博 荻田 富和

まちづくり委員

総自治会名	氏名
東本町	山下 勝司 山田 玲子
八日市町	森野 正吉 中村 敦美
金屋	藤島 銀二 堤 祐子
浜野	堤 吉男 上阪 よう子
八日市清水	高嶋 芳紀 田中 美恵子
八日市緑町	松村 栄士 池田 慎吾

第4号議案 令和5年度事業計画

新型コロナウイルス感染症の分類が5類となったことにより、事業展開がしやすくなりました。コミセンの事業については、3大事業の内、運動会は参加者の減少と負担軽減のため中止と決めました。また、文化祭とコミセンまつりは分離し、文化祭は展示中心に行うこととし、コミセンまつりは夏の子どもフェスティバルと合体し、ようかいちコミセンフェ

スティバルとして6月に開催することになりました。えんめい短期大学をはじめ、ヨガレッチ教室などの教室、料理講座などの短期事業は、ほぼコロナ前の状態に戻して行きます。まち協の各プロジェクトは、従来どおり活動を続けていきますが、新しいプロジェクトの提案もお待ちしております。

第5号議案 令和5年度収支予算

令和5年度八日市地区まちづくり協議会 収支予算書

令和5年度 八日市コミュニティセンター収支予算書

(まちづくり事業会計) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
収入の部 (単位:円)

科目	予算額	摘要
交付金	1,462,000	東近江市まちづくり総合交付金
繰入金	0	八日市地区まちづくり基金より
繰越金	4,948	前年度繰越金
雑収入	52	預金利息等
合計	1,467,000	

支出の部

科目	予算額	摘要
事務局費	25,000	消耗品等
補助金	400,000	八日市地区自治会連合会補助金
会議費	12,000	会議資料、湯茶代等
広報費	100,000	まち協だより用紙、印刷代
事業費	930,000	冒険遊び場づくりPJ 100,000
		延命夢クラブ 150,000
		子育て支援PJ 100,000
		八日市つながりPJ 130,000
		いきいきあったかサロン 60,000
		花いっぱいPJ 40,000
		箕作山麓里・山づくりPJ 20,000
		清水川湧遊PJ 20,000
		防災PJ 80,000
		歴史文化PJ 30,000
		イルミネーション 20,000
		まち鉄PJ 30,000
		まちづくり活動応援補助金 100,000
新規プロジェクト 50,000		
合計	1,467,000	

積立金の状況

名称	令和5年度期首額	一般会計繰出額	令和5年度期末予定額	湖東信用金庫本店営業部定期預金
八日市地区まちづくり基金	3,760,000	0	3,760,000	

第6号議案 規約の改正

第7条第1項第4号 理事にまちづくり委員 1名を追加

治会長及び副自治会長、総自治会からの代議員に変更。

第5号 理事に広報委員 1名を追加

第7号 まちづくり委員の明確化

第12条第2項第6号 総会の構成のうち、単位自治会長を各総自

第16条第3項 広報委員の明確化

まちづくり活動を応援します

八日市地区まちづくり協議会では、まちづくりを推進しようとする市民活動団体を応援する補助金を創設しました。

補助させていただく市民活動団体の要件は、下記のとおりです。

- 市民活動団体は、八日市地区住民を含む3人以上で構成されていること。
- 活動の拠点が八日市地区内にあり、その活動が八日市地区内で行われること。
- 参加者の半数以上が八日市地区住民であること。

- 規約または要綱を有していること。
- 年間を通して活動し、事業にかかる収支が明らかであること。
- 単年の活動でなく、複数年活動すること。
- 会員相互の共益若しくは親睦の活動でないこと。
- 営利を目的とした団体でないこと。
- 政治活動又は宗教活動でないこと。

補助を受けようとする団体は、要項等をお渡ししますので、7月31日までにコミセンまで連絡してください。審査の上、予算の範囲内で補助金を交付します。

(指定管理会計) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
収入の部 (単位:円)

科目	予算額	摘要
指定管理料	15,513,000	コミュニティセンター指定管理料
指定事業収入	700,000	短期講座受講料等
雑収入	391,515	一般コピー代、利息等
繰越金	515,485	前年度繰越金
合計	17,120,000	

支出の部

科目	予算額	摘要	
人件費	給料、手当	10,000,000	常勤職員3名、非常勤職員1名、給料、時間外勤務手当等
	法定福利費	1,350,000	社会保険料、労働保険料
	福利厚生費	240,000	中退共掛金、勤労者互助会負担金、健康診断料
	小計	11,590,000	
運営維持管理費	消耗品費	600,000	事務用品、コピー代等
	燃料費	20,000	公用車ガソリン代
	水道光熱費	1,720,000	電気、水道、ガス代
	修繕費	200,000	施設修繕費
	通信費	170,000	電話、NHK受信料等
	損害保険料	240,000	公民館総合保険、公用車保険料
	委託料	580,000	警備保障、消防、電気設備点検等
	公用車維持費	20,000	公用車修繕
	備品購入費	0	
	租税公課	1,100,000	消費税、法人税、法人市民税等
小計	4,650,000		
事業費	講師謝礼	600,000	短期講座等講師謝礼
	事業消耗品	200,000	学級講座材料費、消耗品、広報用紙等
	使用料・賃借料	10,000	通行料等
	役務費	10,000	郵送料
	旅費交通費	10,000	出張旅費
小計	830,000		
予備費	50,000		
合計	17,120,000		

八日市中央部を通る重要な道筋の一つが、八日市町と金屋町の境界である大通り商店街（八風街道）である。その地下を「筏川」と呼ばれる灌漑用の水路が流れている。車両の通行に支障があるとの理由で、大通り商店街は昭和9年に筏川に蓋をかぶせた。こうして筏川は地下へ潜った。地下の筏川を追跡する。

かつて本町通りの入り口にあった大橋付近で、筏川は南北に分流する。一つは、清水神社の南を流れる。小脇町宿のさいかち地藏前で八風街道と交差、近江鉄道市辺駅付近で蛇砂川と合流する。

他の一つは近江鉄道の線路を潜り抜け、法蔵寺の裏付近で再び地上に姿を現し、自転車道路、湧水の清水川とセットで清水町を進む。やがて筏川は清水川と合流し、中野大川と名を変え、かつて、近江源氏佐々木氏の館があった小脇町脇の北を流れ、小脇山山麓の金柱の宮跡の前を通り、お盆山（紅かす山）の山裾を回り込んで、近江八幡市安土町内野から琵琶湖に注ぐ。

筏川は小脇井、狛井とも呼ばれ、狛の長者が、地元の小脇郷を灌漑するため開削した。また、狛の長者が金柱の宮の建設用資材を愛知川上流から筏を組んで搬入したと伝わる。

鎌倉時代初頭の右大臣、中山忠親の日記である山槐記に「金柱 古麻長者 持仏也」とあり、金柱とは金銅（銅に金メッキ）の仏像で古麻の長者の仏

堂に安置されていることが読み取れる。

金柱の宮は近郷住民の信仰を集め、明治42年の太郎坊宮阿賀神社に合祀されるまでの長期間、辻（現在の清水町）を除く小脇郷の四ヶ字（宿、脇、山添、今里）の総社であったばかりでなく、近在の村々（糖塚、内野、三津屋、野口、柏木等）の氏神様でもあった。金柱の宮跡の前から一直線に伸びる道はかつての参道と伝わる。近くに大宮跡、大宮前の小字名が残る。金柱の宮神事の際、多くの氏子で賑わったことだろう。

平安時代（12世紀）、後白河法皇の編纂による梁塵秘抄に「近江におかしき歌枕 老蘇 轟 蒲生野 布施の池…新羅が建てたりし持仏堂の金の柱」とある。ここで注意すべきは、持仏堂の建立者を「新羅」としている点で、山槐記の「古麻」と異なる点である。おかしき歌枕の紹介ニュース発表時点で、10世紀には既に滅亡して存在しない新羅が使われるのには違和感が残る。一方で、殆んど同時期の書である山槐記が持仏堂の建立者を古麻の長者としている。神田町東部に臨済宗永源寺派の「高麗寺」という小堂宇がある。「こま」は通常、朝鮮半島を長期間支配した「高麗」が充てられる。山槐記では、数世紀も前の人物なので敬意を込めて「古麻」を充てたのであろう。

あれやこれや

其の二十三

筏川と狛の長者の巻

こまのちようじや

森野吉雄さん

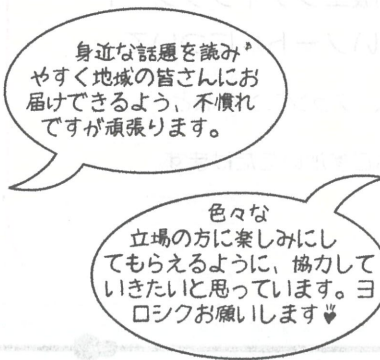
広報委員 ◎は編集委員長

新しい広報委員さんです。よろしくお願いします。

総自治会名	氏名
東本町	山下 勝司 加藤 貴子
八日市町	川村 信蔵 中村 敦美
金屋	藤島 銀二 荒川 貴美代
浜野	浦根 悦夫 角江 幸代
八日市清水	高嶋 芳紀 片岡 真世
八日市緑町	◎高村 修 松村 栄士



角江幸代さん



片岡真世さん

片言隻句

新型コロナウイルスによって翻弄された3年間、徐々に以前のような日常を取り戻しつつあります。しかし、必ずしもコロナ以前の生活に全てが戻るようではなさそうです。「戻らないもの」、「戻したくないもの」が見えてきた気がします。

大きな宴会場を持つ料理店では、お店を閉められたところがありました。盃をお互いに酌み交わす、この地域独特の飲み方も、今では見かけません。お葬式では、参列や香典を辞退され、家族葬が定着しました。三密を回避でき、広い大自然の中で遊べるアウトドアブーム。キャンプ場は、予約がとりにくいという話を聞きます。

観光地やイベントでのにぎわいが報道され、マスク着用も花粉症の終焉と暑さで、徐々に少なくなってきました。

地域でもこの3年間にできなかったイベントや事業を始めようとする動きが出ています。様々な事業をどのようなやり方で行うのか、これから創り上げていくことになるのではないのでしょうか。

皆さんもこの機会に出会いの場を広げ、地域のひとりとして関わってみてはいかがでしょうか。

藤島銀二



編集発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp



まごころ

発行：八日市地区社会福祉協議会・八日市地区民生委員児童委員協議会

令和5年6月

研修

東近江版
エンディングノート

『みらいノート』について

9月24日(日)

10:00より1時間程度

八日市コミュニティセンター

ホール

参加費：無料

内容：東近江版エンディングノート

『みらいノート』について

書き方、プランニングなど

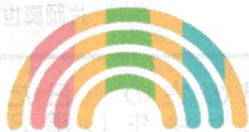
どなたでもご参加いただけます



令和5年度 八日市地区社会福祉協議会総会

令和5年度の総会は書面表決を行い、理事の賛成多数により可決されました。

役 職	氏 名	所 属
会長	加川 泰正	
副会長	小杉 光雄	民生委員児童委員協議会会長
副会長	村井 康弘	自治会連合会副会長 金屋総自治会会長
副会長	山田 みを子	給食ボランティア会長
会計	北村 直美	民生委員児童委員
監事	松吉 愛子	八日市赤十字奉仕団八日市分団
監事	上阪 よう子	保護司会代表
事務局	園田 鈴雅	



高齢者見守り給食

八日市地区社協では月に一回、給食ボランティアが調理したお弁当を持って、民生委員が対象者を訪問する見守り活動を行っています。

お弁当にはできるだけ旬の食材を使い、しおりに一言メッセージを添えて、季節を感じていただけるよう工夫されています。5月のお弁当の献立は、タケノこごはんと豚の生姜焼きでした。(右下写真)

コロナ禍で、活動が中断した時期もありましたが、30年以上にわたりつづいている高齢者の見守り給食、この活動は、赤い羽根共同募金助成を財源に、地区住民の皆様のお会費に支えられています。

今後とも皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

